

 YAMAHA	フロントフェアリングセット 組付・取扱説明書	適 応 機 種 XV1900A
---	-----------------------------------	----------------------------

はじめに

工数：1.0h

■お客様へ

お買い上げ誠にありがとうございます。

本書には商品の正しい組付方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、ご不明な点は販売店にお問い合わせください。

本製品は、オートバイに関する整備上の一般的な知識および技能を有する方（販売店、整備業者）が組み付けることを前提としております。それ以外の方が組み付けを行うと知識不足、技能不足のため、トラブル、機械破損などの原因となることがありますので、販売店に組み付けを依頼してください。本書は、お車の取扱説明書および本品の取付に際して取り外した部品と一緒に保管してください。お車を譲られるときは、この説明書もお渡しください。

■販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。

本書および本品の取付に際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい組み付け、取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠ 警 告 取扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。

⚠ 注 意 取扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要 点 正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

構 成 部 品

部品番号欄が空欄のものは、補修部品の設定はありません。

■フロントフェアリングマウント（Q5K-YSK-070-R09）

No.	品 名	部 品 番 号	数 量	備 考
①	マウントL		1	
②	マウントR		1	
③	ボタンヘッドボルト		4	M8 × 45mm
④	スペーサー		2	
⑤	スペーサー		2	
⑥	ヘキサゴンヘッドボルト		2	M8 × 18mm
⑦	ボタンヘッドボルト		4	M8 × 25mm
⑧	ボタンヘッドボルト		2	M6 × 12mm
⑨	ロングカラー		2	
⑩	ショートカラー		4	
⑪	ラバーキャップ		1	
⑫	ロックタイ		1	203mm

■フロントフェアリング（Q5K-YSK-070-R08）

No.	品 名	部 品 番 号	数 量	備 考
⑬	フェアリングASSY.		1	
⑭	・フロントカバー		1	⑬に仮組み済み
⑮	・インナーカバー		1	⑬に仮組み済み
⑯	・クランプ		2	⑬に仮組み済み
⑰	・ボタンヘッドボルト		8	⑬に仮組み済み M4 × 16mm
⑱	・ソケットヘッドボルト		4	⑬に仮組み済み M5 × 16mm
⑲	・フレームL		1	⑬に仮組み済み
⑳	・フレームR		1	⑬に仮組み済み
㉑	・ボタンヘッドボルト		2	⑬に仮組み済み

要 点

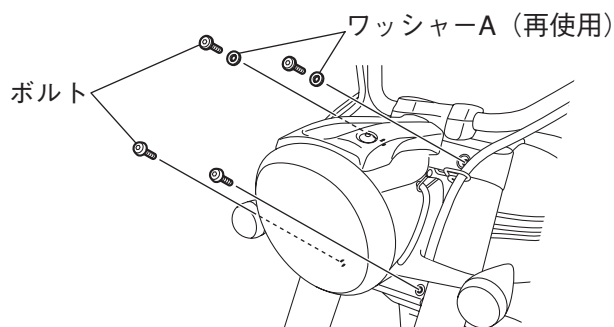
- ・フロントフェアリングに組み付いているシールドを、別売のフロントフェアリング用ツールシールド（Q5K-YSK-070-R10）に交換することができます。
- ・取り外した部品で再使用しない部品は、スタンダードに戻すときに必要となりますので大切に保管してください。

組 付 方 法

注 意

フェアリングASSY.⑬は傷が付きやすいため、柔らかい布などで保護しながら作業をしてください。

1. 車両のフロントフォーク上部に組み付けられているボルトとワッシャー（4ヶ所）を取り外します。

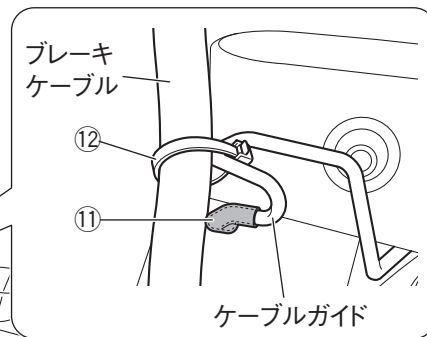
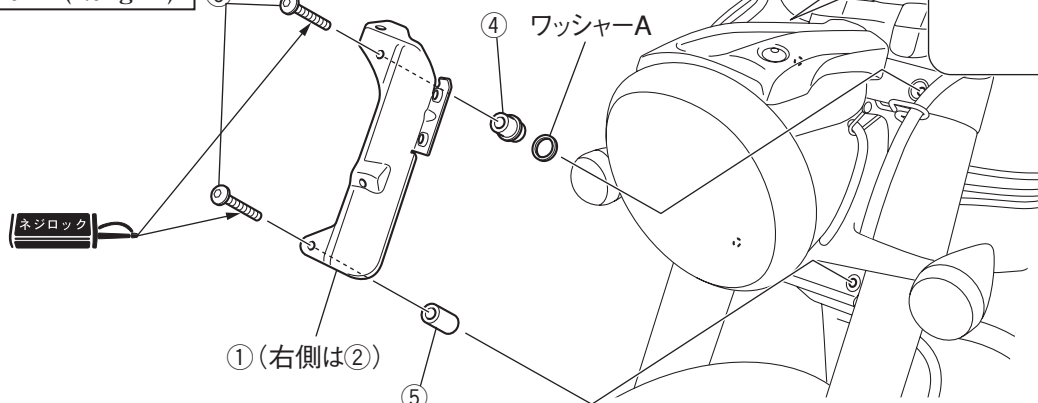


2. マウントL①・R②と車両の間にスペーサー④・ワッシャーA・スペーサー⑤をはさみ、ボタンヘッドボルト③で固定します。

3. 車両右側のブレーキケーブルをケーブルガイドから外し、ロックタイ⑫で固定します。（下図吹き出し参照）

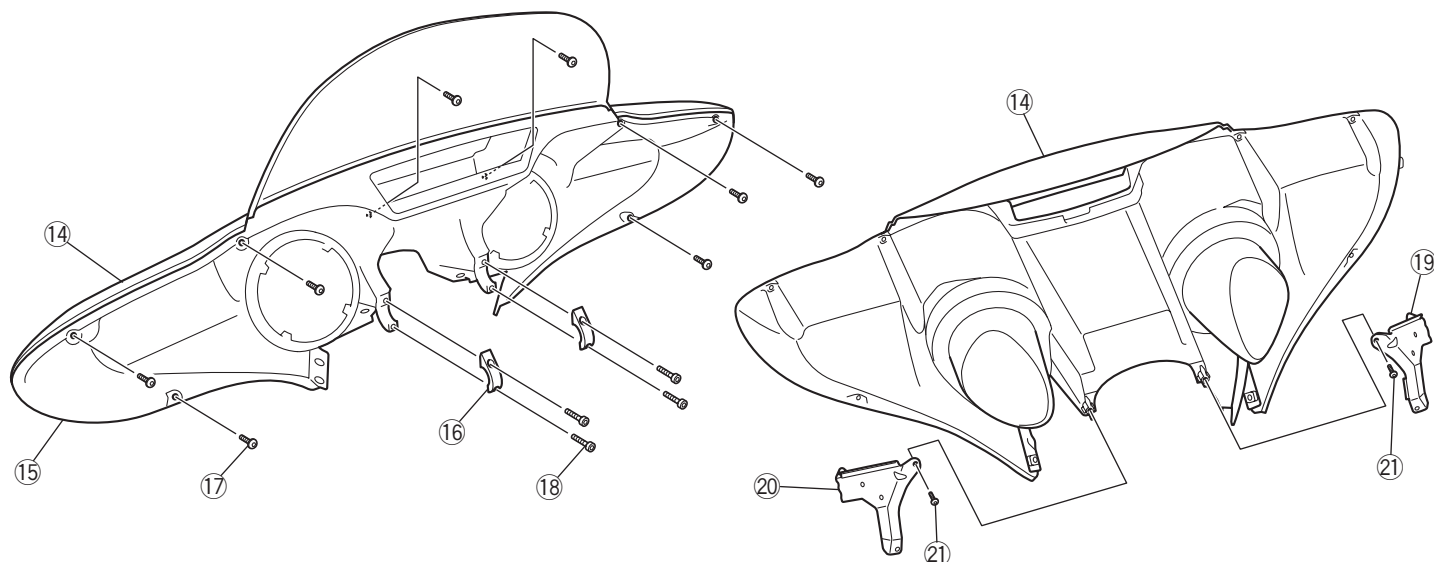
4. ケーブルガイドの先端にラバーキャップ⑪をはめます。

20Nm(2.0kg・m)

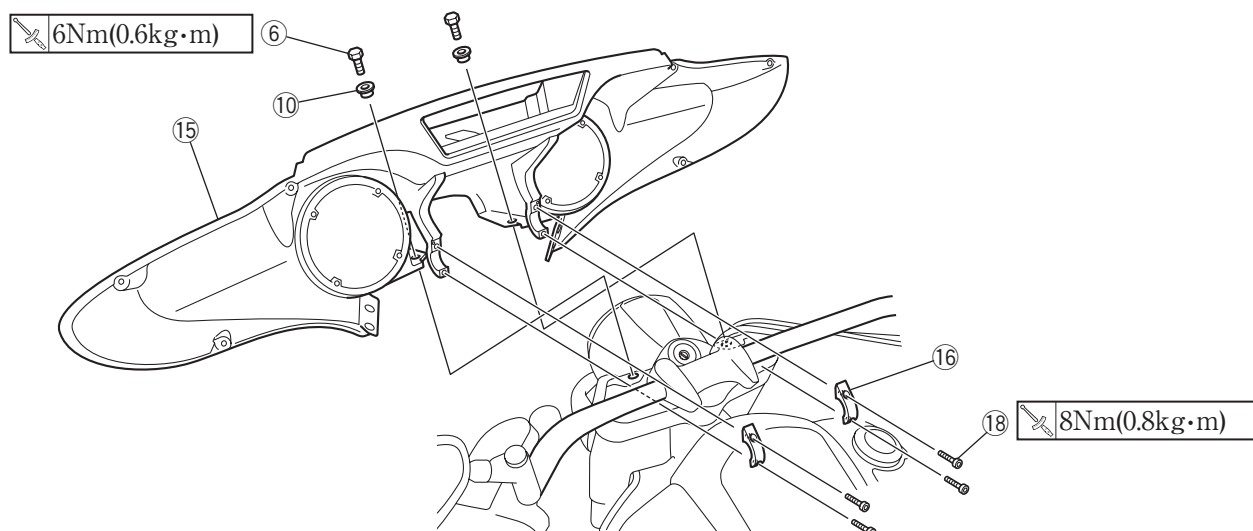


※イラストは車両左側ですが、右側も同様に組み付けます。

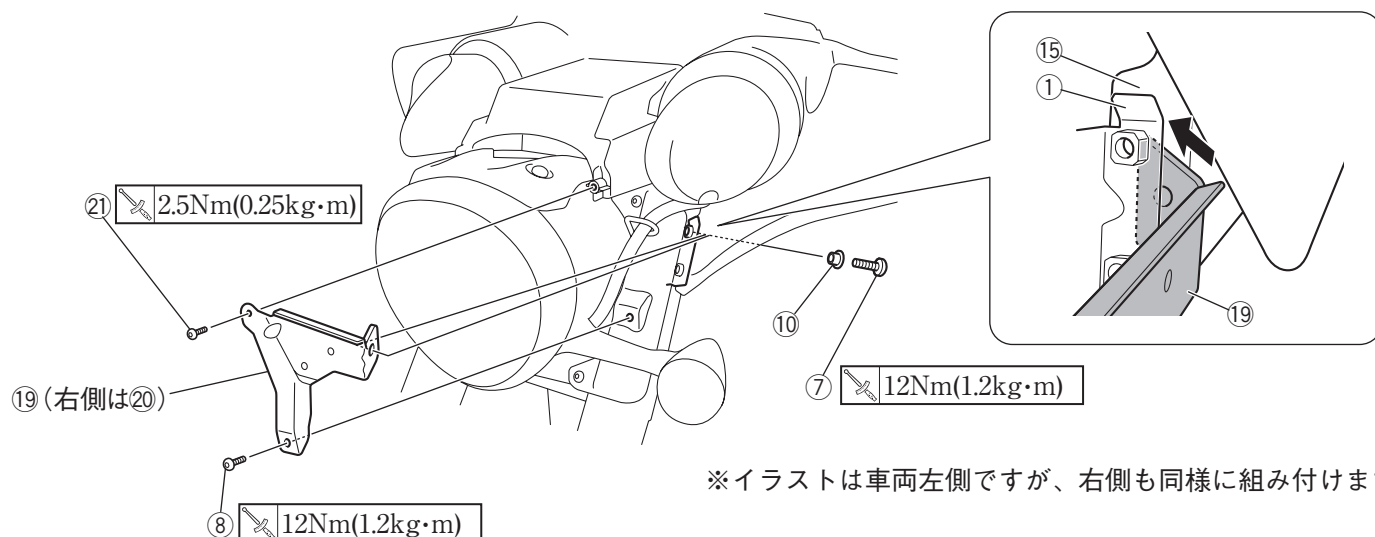
5. 仮組みされたフェアリングASSY.⑬を分解します。



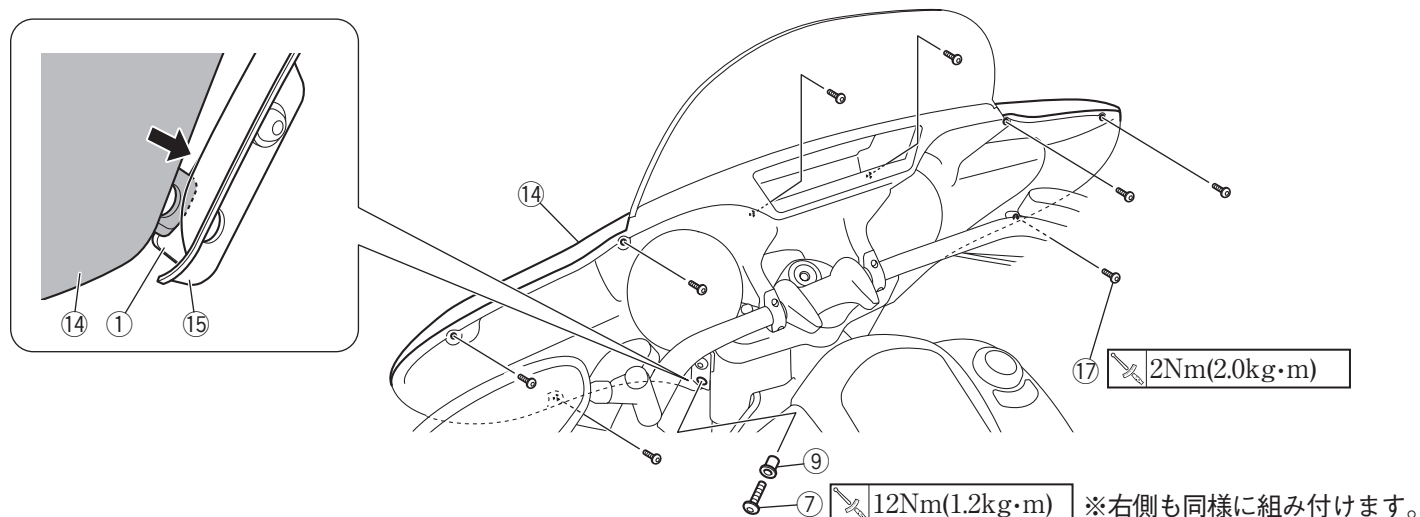
6. インナーカバー⑮を車両のハンドルに、クランプ⑮とソケットヘッドボルト⑮で仮組みします。
 7. インナーカバー⑮をマウントL①・R②の上部に、ヘキサゴンヘッドボルト⑥とショートカラー⑩で固定します。



8. フレームL⑮・R⑯の先端をマウントL①・R②とインナーカバー⑮の間に差し込み、ボタンヘッドボルト⑦とショートカラー⑩で仮組みします。車両前側はボタンヘッドボルト⑮とボタンヘッドボルト⑧で組み付けます。
 9. 仮組みしていたソケットヘッドボルト⑮・ヘキサゴンヘッドボルト⑥・ボタンヘッドボルト⑦を指定のトルクで締め付けます。



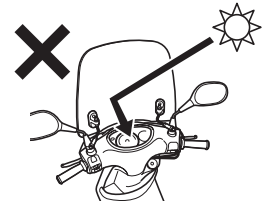
10. フロントカバー⑭の先端をマウントL①・R②とインナーカバー⑮の間に差し込み、ボタンヘッドボルト⑦とロングカラー⑨で仮組みします。
 11. ボタンヘッドボルト⑦でフロントカバー⑭を固定します。
 12. 仮止めしていたボタンヘッドボルト⑦を指定のトルクで締め付けます。



取 扱 上 の ご 注 意

注 意

- ウインドシールドに直射日光が当たらないように駐車してください。ウインドシールドが凹面鏡になり、反射集光した太陽光が発熱し、車両のカバーなどを変形させる恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所に駐車する場合は、柔らかいタオルなどでウインドシールドをカバーして直射日光が当たらないようにしてください。



⚠ 警 告

- 組付後と走行前に、各部品に緩みやガタつきがないか確認し、定期的にボルトの増締めをしてください。走行中に部品が緩んだり外れたりすると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ヒビ割れしたウインドシールドは使用しないでください。そのまま使用すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。

注 意

- フェアリングキットの清掃は中性洗剤を使用し、柔らかい布かスポンジで水洗いしてください。ワックス類、ユニコンカークリーム、コンパウンド入りのクリーニング剤を使用すると、製品に傷が付く恐れがあります。
- ウインドシールドにガソリン、ブレーキオイル、アルコールなどの化学薬品を付けないように注意してください。ヒビ割れの原因となります。
- ウインドシールドを組み付けた車両は、日陰や風通しのよいところに駐車してください。車両にカバーをかぶせ高温下で放置すると、カバー内に熱がこもりウインドシールドが変形することがあります。